

## モデル計画 B：育児をしている社員が多いが、長時間労働になりがちな会社

### \_\_\_\_\_行動計画

社員がその能力を發揮し、仕事と生活の調和を図り働きやすい雇用環境整備を行うため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間           年   月   日～           年   月   日までの   年間

2. 内容

目標 1：社員のワーク・ライフ・バランスを確保するため、勤務間インターバル制度を導入する。

<対策>

- 年   月～ 社員へのアンケート調査、検討開始
- 年   月～ 制度の導入、管理職研修及び社内報などによる社員への周知

※参考…勤務間インターバル制度について（働き方・休み方改善ポータルサイト）

<https://work-holiday.mhlw.go.jp/interval/>

目標 2：       年   月までに、従業員全員の所定外労働時間を、1人当たり年間   時間未滿とする。

<対策>

- 年   月～ 所定外労働の原因の分析等を行う
- 年   月～ 管理職を対象とした意識改革のための研修を   回実施
- 年   月～ 社内報などによる社員への周知
- 年   月～ 各部署における問題点の検討及び研修の実施

目標 3：事業所周辺の小中学校の生徒を対象に、工場見学ができる「子ども参観日」を創設する。

<対策>

- 年   月～ 受け入れ方法や体制についての検討
- 年   月～ 関係機関、学校との連携
- 年   月～ 参観日の実施、次回に向けての検討